

ちば高校生県議会検討ワーキンググループ（第４回） 議事要旨

- 1 日 時 令和7年9月17日（水）午後2時45分～午後3時15分
- 2 場 所 議会棟5階 議会運営委員会室
- 3 出席者 構成員 小路正和議員、伊豆倉雄太議員、田中幸太郎議員、川村博章議員、鈴木均議員、秋山陽議員、仲村秀明議員、石川りょう議員、浅野ふみ子議員
関係課 議会事務局政務調査課 岩木桂子副課長、茂木純子議会広報班長
教育庁学習指導課 村上英輝主幹、齋藤大資指導主事
総務部学事課 竹内大輔私学振興班長
事務局 坂牧郁夫議事課長、荻原裕一議事課副課長、高山千夏議事班長、檜垣沙希主事

4 議事概要

（１）開催後の反省点について

事務局から開催後の反省点について説明

（２）議員からの主な意見

①当日のスケジュールについて

- ・時間的にはちょうどよかった。
- ・時間にやや余裕がない部分もあったが、参加者全員が集中して臨んでいたのが印象的だった。
- ・今回は終了時間が30分延びてしまったが、スケジュールは今のままで、参加者へ事前に終了時間が前後する可能性がある旨を周知するとよいと思う。

②テーマ等について

- ・高校生が実際に関わっている身近な事柄にすべきである。
- ・テーマの幅が広く、焦点を絞るのが大変だったため、もっと具体的なテーマにした方がよいと思う。
- ・事前に自分の意見を考えてきてもらい発表してもらう方法はよかった。
- ・委員会はデジタル化し、モニターを活用してプレゼン方式で行うとより分かりやすいのではないか。
- ・ホワイトボードに意見を書き出すことは、議論の進捗が目で見えてわかるのでよかった。
- ・生徒の意見を委員長報告にまとめることが1番大変だった。

③その他

- ・議場見学には、議長室・副議長室も含めた方がよいのではないか。
- ・参加証明書がほしいとの意見があるので、対応してほしい。

(3) その他

- ・参加した高校生からは大変好評であり、全体として、非常に有意義な開催であったことから、来年度以降も開催し、定例化すべきと代表者会議に報告等を行う。